（4）　銀行用建物

部分別	評点項目及び標準評点数			標準量	補正項目及び補正係数				計算単位
					補正項目	増点補正率	標準	減点補正率	
非木造	鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨、鉄筋及びコンクリートの使用量が明確でない建物	鉄骨鉄筋コンクリート造 40,550	コンクリート〇・八二立方メートル、鉄筋〇・〇六トン、鉄骨〇・〇七トン、延べ床面積一・〇平方メートル当たり鉄骨	ホールの階高	1.20 ← 10m程度のもの	1.0 8m程度のもの	→ 0.90 6m程度のもの	延べ床面積
					柱間	1.20 ← 12m程度のもの	1.0 7m程度のもの	→ 0.90 5m程度のもの	
					地階	1.05 ← 地下2階のもの	1.0 地下1階のもの	→ 0.95 地階のないもの	
					工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
		鉄骨、鉄筋及びコンクリートの使用量が明確な建物	鉄骨、鉄筋及びコンクリートの使用量が明確な建物にあっては、次の算式によって求める。 （算式） 標準評点数 ＝｛169,910×鉄骨使用量（単位ｔ）｝＋ ｛100,640×鉄筋使用量（単位ｔ）｝＋ ｛26,250×コンクリート使用量（単位㎥）｝		工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
	鉄筋コンクリート造	鉄筋及びコンクリートの使用量が明確でない建物	鉄筋コンクリート造 34,950	コンクリート〇・九一立方メートル、鉄筋〇・一一トン、コンクリート造延べ床面積一・〇平方メートル当たり鉄筋	ホールの階高	1.20 ← 10m程度のもの	1.0 8m程度のもの	→ 0.90 6m程度のもの	延べ床面積
					柱間	1.50 ← 10m程度のもの	1.0 6m程度のもの	→ 0.95 4m程度のもの	
					地階	1.05 ← 地下2階のもの	1.0 地下1階のもの	→ 0.95 地階のないもの	
					工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
		鉄筋及びコンクリートの使用量が明確な建物	鉄筋及びコンクリートの使用量が明確な建物にあっては、次の算式によって求める。 （算式） 標準評点数 ＝｛100,640×鉄筋使用量（単位ｔ）｝＋ ｛26,250×コンクリート使用量（単位㎥）｝		工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
	鉄筋コンクリート造（屋根に鉄骨トラスを使用しているもの）	鉄骨、鉄筋及びコンクリートの使用量が明確でない建物	鉄筋コンクリート造（屋根に鉄骨トラスを使用しているもの） 32,390	コンクリート〇・七三立方メートル、鉄筋〇・〇九一トン、延べ床面積一・〇平方メートル当たり鉄骨	規模の大小	1.20 ← 建床面積600㎡程度のもの	1.0 建床面積330㎡程度のもの	→ 0.85 建床面積165㎡程度のもの	延べ床面積
					ホールの階高	1.20 ← 10m程度のもの	1.0 8m程度のもの	→ 0.90 6m程度のもの	
					柱間	1.50 ← 10m程度のもの	1.0 6m程度のもの	→ 0.95 4m程度のもの	
					地階	1.05 ← 地下2階のもの	1.0 地下1階のもの	→ 0.95 地階のないもの	
					工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
		鉄骨、鉄筋及びコンクリートの使用量が明確な建物	鉄骨、鉄筋及びコンクリートの使用量が明確な建物にあっては、次の算式によって求める。 （屋根に鉄骨トラスを使用しているもの） （算式） 標準評点数 ＝｛169,910×鉄骨使用量（単位ｔ）｝＋ ｛100,640×鉄筋使用量（単位ｔ）｝＋ ｛26,250×コンクリート使用量（単位㎥）｝		工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	

鉄骨造	鉄骨の使用量が明確でない建物	鉄骨造	耐火被覆あり	15,780	当たり鉄骨〇・〇八三トン延べ床面積一・〇平方メートル	ホールの階高	1.20 ← 10m程度のもの	1.0 8m程度のもの	→ 0.90 6m程度のもの	延べ床面積
			錆止め塗装のもの	16,850					
			耐火被覆なし	14,100					
			錆止め塗装のもの	15,170					
			亜鉛めっき加工のもの	18,910					
						柱間	1.50 ← 10m程度のもの	1.0 6m程度のもの	→ 0.95 4m程度のもの	
						規模	1.02 ← 900㎡程度のもの	1.0 1,800㎡程度のもの	→ 0.96 3,600㎡程度のもの	
						（注）1.08を上限、0.91を下限とする。				
						工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
	鉄骨の使用量が明確な建物	鉄骨の使用量が明確な建物にあっては、次の算式によって求める。 （算式） 標準評点数＝A×鉄骨使用量（単位ｔ） A：耐火被覆ありのもの 190,210 耐火被覆ありで錆止め塗装のもの 203,080 耐火被覆なしのもの 169,910 耐火被覆なしで錆止め塗装のもの 182,780 耐火被覆なしで亜鉛めっき加工のもの 227,910				規模	1.02 ← 900㎡程度のもの	1.0 1,800㎡程度のもの	→ 0.96 3,600㎡程度のもの	
						（注）1.08を上限、0.91を下限とする。				
						工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
コンクリートブロック造			18,660	当たり二・〇平方メートル延べ床面積一・〇平方メートル	階層数	1.10 ← 3階建のもの	1.0 2階建のもの	→ 0.90 平家建のもの	延べ床面積
					ホールの階高	1.35 ← 11m程度のもの	1.0 8m程度のもの		
					壁厚	1.20 ← 20cm程度のもの	1.0 15cm程度のもの		
屋根構造	鉄筋コンクリート造		5,800	当たり一・〇平方メートル建床面積一・〇平方メートル					建床面積
	気泡コンクリート板	150mm厚	6,890						
		125mm厚	5,980						
		100mm厚	5,190						
		75mm厚	4,670						
	プレキャストコンクリート板	100mm厚	10,860						
		40mm厚（リブ付）	7,370						
	軽量コンクリート打	大角型波鋼板（捲型枠のもの）1.6mm厚	7,460						
		角型波鋼板（捲型枠のもの）1.2mm厚	6,130						
		ラスシート（捲型枠のもの）	5,320						
	勾配屋根	鉄骨造	5,010	当たり一・二〇平方メートル建床面積一・〇平方メートル	勾配の大小	1.35 ← かね勾配のもの	1.0 4.5/10程度のもの	→ 0.95 2.5/10程度のもの	
		木造	7,020		軒出の大小	1.20 ← 軒出の大きいもの	1.0 軒出45cm程度のもの	→ 0.90 軒出の小さいもの	
床構造	鉄筋コンクリート造		4,970	一・〇平方メートルカメートル当たり一・〇平延べ床面積一・〇					延べ床面積
	束立床		1,840						
	気泡コンクリート板	150mm厚	6,930						